

学校研究

1 研究の概要

(1) 研究主題

集めた情報を適切にまとめ、伝える力の育成
～教科等の見方・考え方を働かせる授業を通して～

(2) 研究仮説

児童が教科の見方・考え方を働かせ、情報活用能力(適切にまとめる・伝える力)を身につければ、児童の学力が向上するであろう。

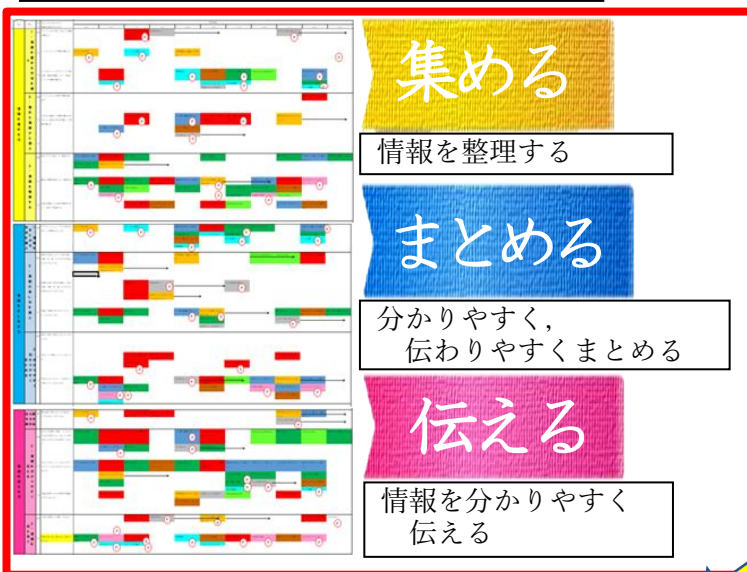
(3) めざす児童の姿

- ① 伝える相手と目的を明確にもち、課題を解決するために情報を集める児童
- ② 集めた情報を生かし、相手に分かりやすく適切にまとめる児童
- ③ まとめた情報を生かし、相手に分かりやすく適切に伝える児童

児童によりよい学びをすすめる

2 研究の内容

邑知 coil = 情報活用能力 (資質・能力)



教科の見方・考え方を
働かせて
適切に表現する力

情報活用能力

- 集: 情報を整理する
ま: 分かりやすく・伝わりやすくまとめる
伝: 分かりやすく伝える

教科の見方・考え方を働かせるための

- ★ 単元計画
(単元のゴール・目的・相手)
- ★ 授業
(発問・問い返し・ゆさぶり)
- ★ ルーブリック評価 (学習到達度評価)
(見取り・価値づけ)

各教科等の特質に応じた見方・考え方のイメージ (一部)

言葉による見方・考え方	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること。
社会的事象の地理的な見方・考え方	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること。
社会的事象の歴史的な見方・考え方	社会的事象を、時期、推移などに注目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。
現代社会の見方・考え方	社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点 (概念や理論など) に注目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。
数学的な見方・考え方	事象を、数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること。

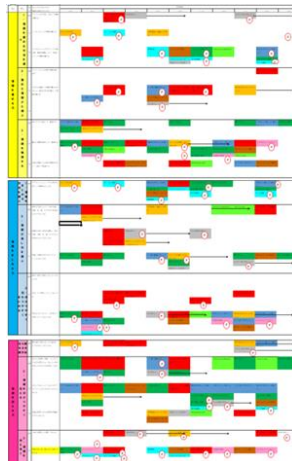
教科の見方・考え方

7step

6年 邑知小 7 ステップ	
ステップ	すがた・ことば
① つかむ	「宿の時間は」「今日やりたいことは」「はっきりさせたいことは」
② 見通す	「～すれば～なると思う」「はずだ」 「～だから～と思う」
③ 考える	・課題を解決するために、 「 決める 」 ・自分の考えをもつ ・課題について話し合う ＜話す＞ ・事実と感情、意見を区別して 「だった」「思った」「考えた」 話し合いをよりききさせて 自分の考えが伝わるように ＜聞く＞ ・大切な言葉や条件を使って 同じ点とちがう点を出して
④ 学びあう	「今日の学びを使って考えてみよう」 「これからの学習や生活に生かそう」
⑤ まとめる	「～が分かるようになった」 「～ができるようになった」
⑥ いかす	「〇〇さんの話を聞いて」 「自分のよいところは」「〇〇さんのよいところは」 「今日の学習は～につながる」 「次は（これから）～してみたい」
⑦ ふり返る	

他の学習で・生活で・総合で

邑知 coil



邑知 Coil の確認

- ① 邑知 Coil の確認
- ② 邑知 Coil の変換
…情報教育担当
- ③ // の集約
…学習部で

- ・授業づくりの
「スタンダード」
- ・プレート活用
- ・ふり返りまでのある授業を設計する。
- ・単元構成によって、ダイナミックな展開もよい。

Next シート(情報活用能力)

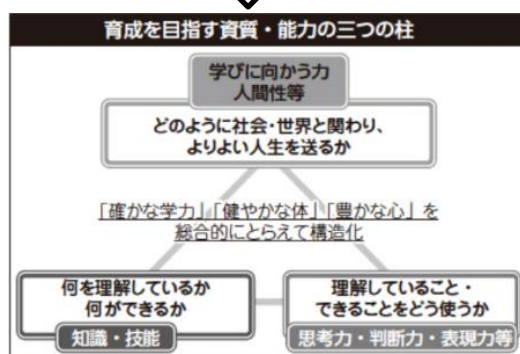
今日の学びの
は
次の
につながるよ！

Subject eye (教科の見方・考え方)

- ・単元の学習に必要な「教科の見方・考え方」を明確にし、児童と共有する。

ふり返りの視点

これから



できわか

友達と比べた気づき・変容 + どう使う

3 評価・検証方法

(1) ルーブリック評価規準（学習到達度評価）

- ・ 邑知小版ルーブリック評価の作成

(2) 学力調査等を活用した検証

① 前期（7月）・後期（12月）

- ・ 各種学力調査問題等 ※紙か Google classroom のクラス→課題の提出→課題の添付→採点
- ・ 児童アンケート ※Google フォームで質問項目を作成

→Google スプレッドシートで集計・分析・グラフの自動作成

② 短期（12～1月）

- ・ 県評価問題 ※既存の「まな bank」を活用する
- ・ 羽咋市学力調査
 - 国語 「情報」(※)に関する設問 学習指導要領「情報」「情報と情報の関係」
 - 算数 「データの活用」(※)に関する設問 学習指導要領「D データの活用」